

第10回国際金融規制研究会議事要旨

1. 日時：平成31年3月8日（金）13時～15時

2. 場所：太陽生命日本橋ビル26階会議室

3. 議題：

- (1) 最近の国際金融規制を巡る議論の動向
- (2) 金融市場の分断の回避
- (3) 高齢化の課題・政策対応
- (4) 質の高いインフラ投資
- (5) その他

4. 議事内容：

○ 議題（1）に関連して、

金融庁総合政策局国際室長の池田賢志氏より、日本議長下でのG20における金融分野のプライオリティについて、また、日本銀行金融機構局審議役（国際関係統括）の秀島弘高氏より、バーゼル銀行監督委員会における議論の動向について報告がなされた。

○ 議題（2）に関連して、

中田裕二委員、萩原攻太郎委員、森田智子委員、和仁亮裕委員より、規制による市場の分断の現状、市場の分断を誘発する規制を回避するための方策について報告がなされ、それを巡って質疑応答がなされた。

○ 議題（3）に関連して、

萩原攻太郎委員、小柳智裕委員代理の駒田勇人氏より、認知・身体機能が低下する高齢者への金融サービスのあり方、人生100年時代における適切な生活保障（自助・共助・公助）を実現するための方策などについて、G20で議論が行われることを期待する旨の意見が出され、それを巡って質疑応答が行われた。

○ 議題（4）に関連して、

小柳智裕委員代理の駒田勇人氏より、民間によるインフラ投資を促進するための環境整備（政策の安定性、官民協力等）について、G20で議論が行われることを期待する旨の意見が出され、それを巡って質疑応答が行われた。

○ 議題（５）に関連して、

中曾宏座長より、研究会における意見交換を踏まえ、簡潔な意見書を取りまとめて公表することについて委員に諮ったところ、異議がなかったため、その方向で検討することとされた。

以上